

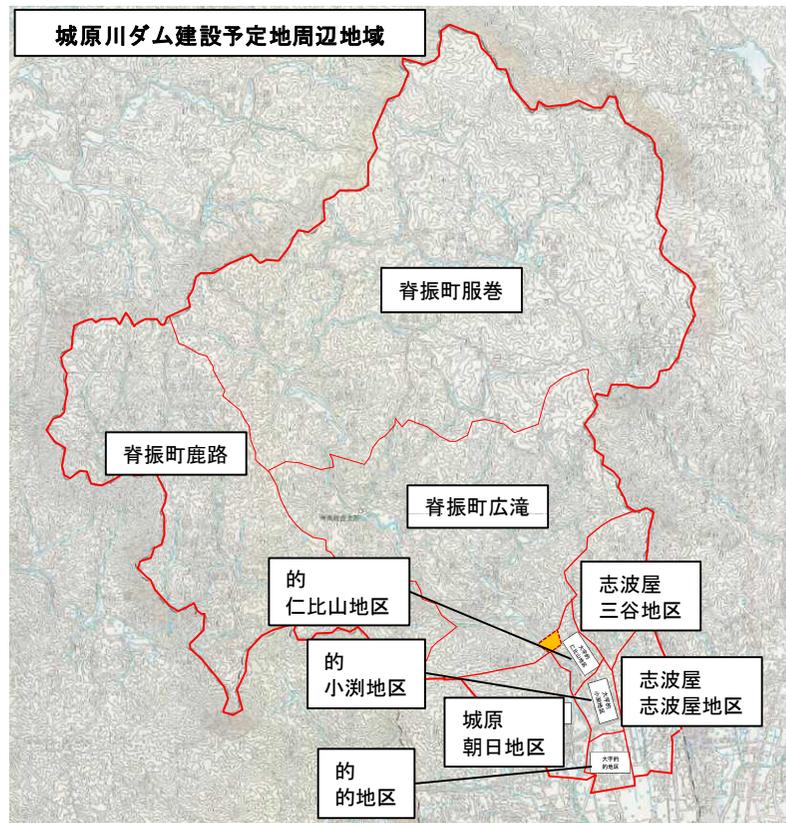
# 神崎市水源地域振興計画について

## (1) 計画策定の目的・着眼点

- ◆ 城原川ダムについては、平成18年7月策定の「筑後川水系河川整備計画」により城原川の洪水調整を行うダムとして計画されており、平成28年7月には、「事業継続」の決定がなされ、平成30年より「建設段階」への移行がなされているが、城原川ダム建設に伴い、その周辺地域の生産機能及び生活環境などが著しい影響を受けることが考えられる。
- ◆ 城原川ダム周辺地域及び上流域の振興を図ることを目的に、委員会やワークショップでの検討を踏まえ、城原川ダムに係る水源地域振興に関する目標や基本方針などを取りまとめた計画として、「神崎市水源地域振興計画」を策定する。
- ◆ ダム完成までの期間が長期にわたること、水源地域の少子高齢化等が著しいことから、ダム整備やダム周辺地域を中心に考えるのではなく、「水源地域の生産機能及び生活環境の現状と課題を踏まえ、地域コミュニティの維持を目指した振興施策において、城原川ダム事業をどのように反映するか」という視点から、地域の現状や課題を踏まえ、計画策定に向けた検討を行う。
- ◆ 「神崎市水源地域振興計画」は、地域が主体となって進めるまちづくり活動などを効果的に実現するために必要となる施策について、地域と行政が協働でつくりあげるものである。

## (2) 計画の対象範囲

- ◆ 城原川ダム建設に伴い、生産機能及び生活環境などが著しい影響を受けることが考えられる**ダム周辺地域及びその上流域を主な対象範囲とする**が(図-1)、**地域振興の施策については、神崎市全域あるいは城原川ダム流域等、城原川ダムの効果が及ぶ範囲を包括的に念頭に置いて地域活性化に向けた取組みを柔軟に展開していくこととする。**(図-2 城原川流域図参照)。



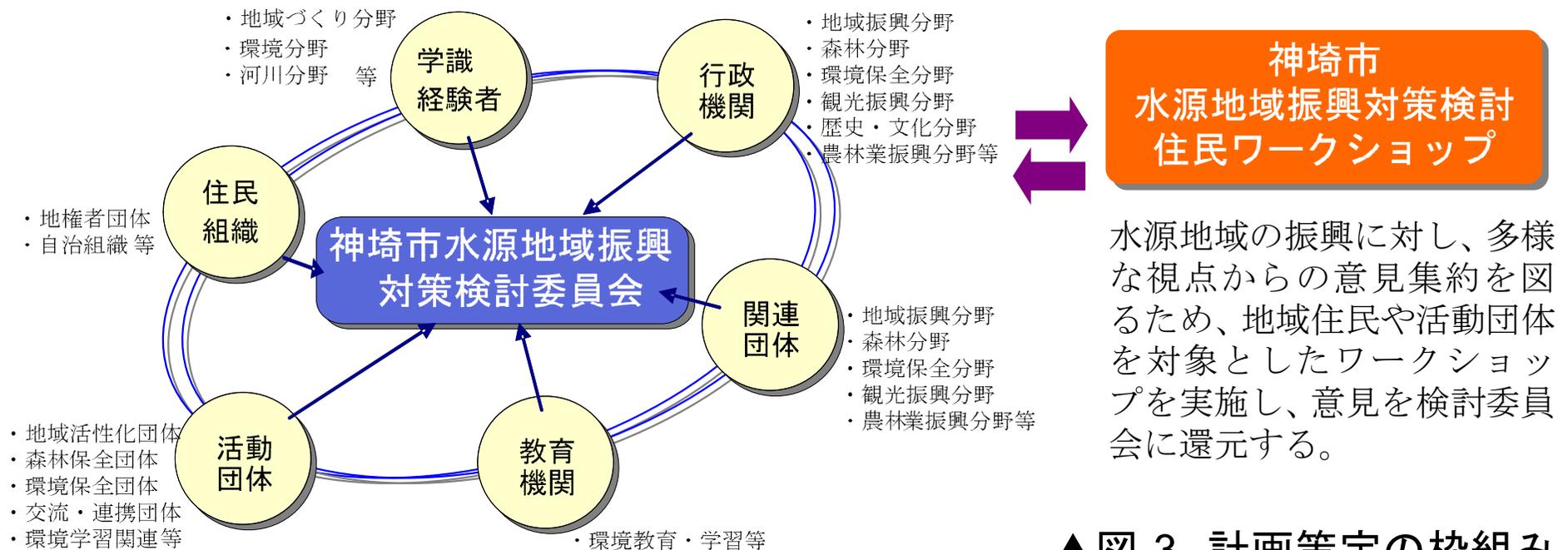
▲図-1 城原川ダム建設予定地周辺地域



▲図-2 城原川流域図

### (3) 計画策定の枠組み

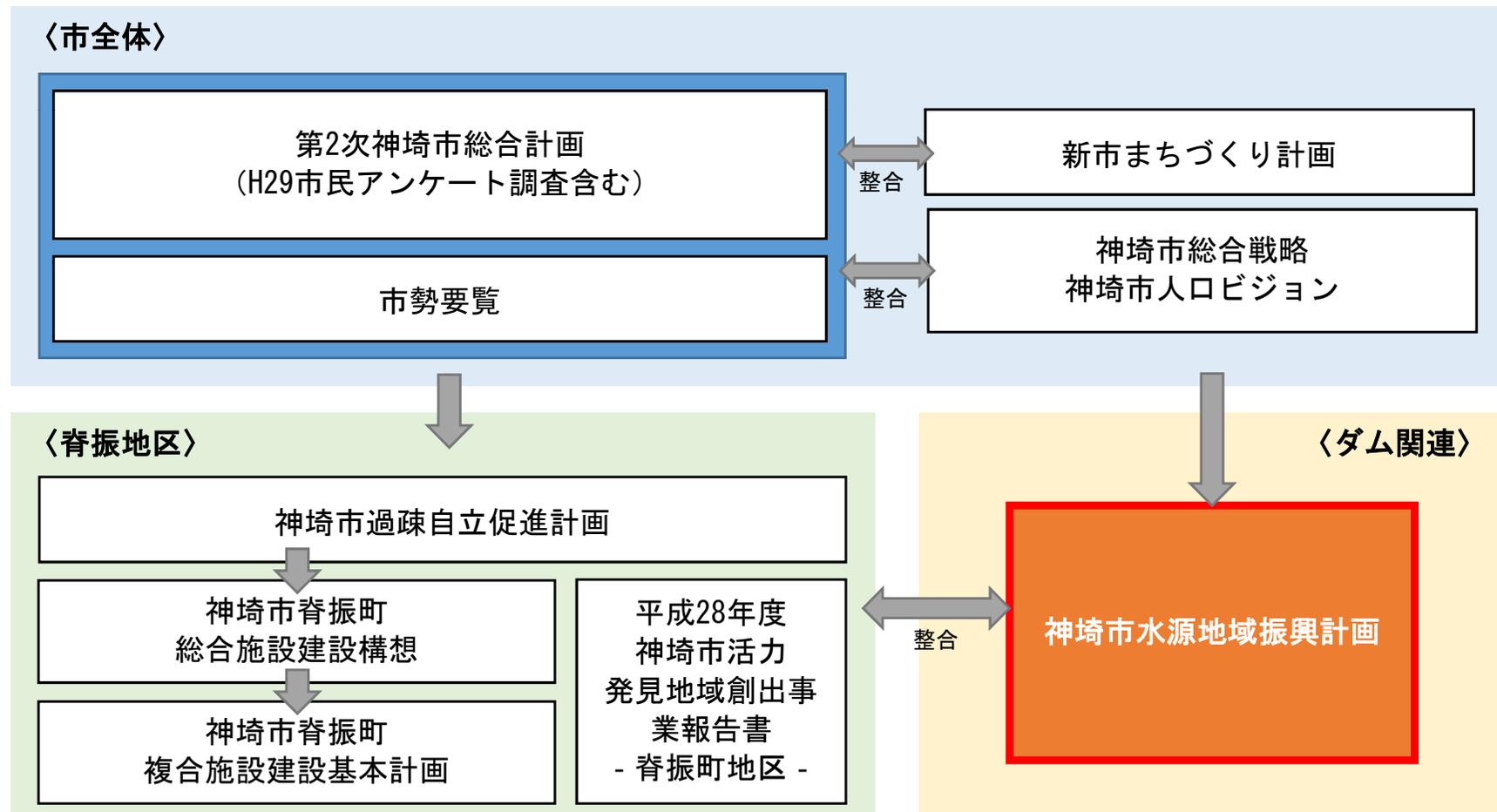
- ◆ 行政機関、学識者、住民組織、活動団体、教育機関、関連団体の代表者からなる「**神崎市水源地域振興対策検討委員会**」にて必要な事項を検討する。
- ◆ 地域住民や活動団体など、多様な視点からの意見集約を図るために、「**神崎市水源地域振興対策検討住民ワークショップ**」を設置して、テーマに即して活発な意見交換を図り、検討委員会にフィードバック(還元)しながら計画を策定する。
- ◆ 次年度以降の計画策定に向け、地域づくりフォーラム(仮称)を実施し(次年度)、広く情報発信に努め、神崎市水源地域振興の推進に関する機運を高めていく。



▲図-3 計画策定の枠組み

## (4) 神崎市水源地域振興計画の位置づけ

- ◆ 神崎市水源地域振興計画の策定にあたっては、第2次神崎市総合計画など関連上位計画との整合を図ることとする。



## (5)①神崎市水源地域振興対策検討委員会

### 【目的】

- ◆ 計画の策定にあたっては、神崎市の現状と課題に対する専門的な見地と地域の状況を踏まえ、**ダム周辺地域及びその上流域の活性化の方向性や取組について地域の意向を反映**することが必要である。
- ◆ 計画対象地域の地域振興、環境保全、観光振興などの利活用等に関して、**城原川ダムと地域の特性や課題などを考慮した上で、基本構想や振興計画の策定に向けての協議及び検討**を行なう。

### 【検討内容】

- ◆ 計画の目的、水源地域の現況と課題の整理(第1回)
- ◆ 地域の将来像の検討、ロードマップ<sup>※</sup>(案)の策定(第2回)
  
- ◆ 地域振興の目標・基本方針の位置づけ(次年度)
- ◆ 基本構想の推進体制の設定(次年度)
- ◆ 神崎市水源地域振興計画(基本構想)のとりまとめ(次年度)

### 【目的】

- ◆ 計画の策定にあたっては、ダム周辺地域の生産機能及び生活環境の現状と課題を踏まえ、**地域コミュニティの維持を目指した振興施策において、城原川ダム事業をどのように反映するか**を検討することが必要となる。
- ◆ ダム周辺地域及び上流部の**地区代表者や住民、地域づくり団体等**で構成する「住民ワークショップ」を設置し、テーマに即して活発な意見交換を図り、集約した意見を検討委員会にフィードバック(還元)する。
- ◆ **自由に発言できる場**を設け、**市民の意見を広く収集**することを目的とする。

### 【検討内容】

- ◆ 地域の魅力と課題の整理、現状と課題を踏まえた地域振興のあり方(第1回)
- ◆ 地域の将来像、ロードマップ<sup>※</sup>(案)の検討(第2回)
  
- ◆ 地域振興の目標・取組内容の検討(次年度)
- ◆ 推進の仕組みづくりの検討、地域づくりフォーラム(仮称)の検討(次年度)

## (6) 計画策定のスケジュール(今年度①)

### ■ 第1回検討委員会

日 程 2019年11月11日(月)

メンバー 有識者、関係機関、行政等

内 容 (1) 委嘱状の交付・趣旨説明  
(2) 神崎市水源地域振興計画の趣旨  
(3) 城原川ダム事業の経緯・進捗状況等  
(4) 住民アンケートの報告  
(5) 今後のスケジュール

### ◆ 先例地視察

日 程 2019年12月8日(日) 予定

メンバー 有識者、関係機関、行政等

内 容 (1) 先例地視察(鹿児島市西之谷ダム)  
(2) 周辺施設に対するヒアリング等

## (6) 計画策定のスケジュール(今年度②)



### ◆第1回住民ワークショップ

日 程	2020年1月中旬 時間未定
メンバー	地区代表者、地域づくり団体、行政：40名程度
内 容	<ul style="list-style-type: none"><li>・本事業の目的、過年度調査結果の報告(アンケート結果)</li><li>・地域の魅力と課題の整理</li><li>・現状と課題を踏まえた地域振興のあり方の検討</li></ul>



### ◆第2回住民ワークショップ

日 程	2020年2月上旬 時間未定
メンバー	地区代表者、地域づくり団体、行政：40名程度
内 容	<ul style="list-style-type: none"><li>・現状と課題を踏まえた地域振興のあり方(方向性、実施時期、実施主体)の協議</li><li>・地域の将来像及びロードマップの検討</li></ul>



### ■第2回検討委員会

日 程	2020年3月上旬
メンバー	有識者、関係機関、行政等
内 容	<ol style="list-style-type: none"><li>(1) ワークショップの実施報告</li><li>(2) 地域の課題整理</li><li>(3) 地域の将来像の検討</li><li>(4) ロードマップ(案)の策定</li></ol>